

問1 平城京の設計のモデルとなった、唐の都の名前を何という？

1. 平安京 2. 長安 3. 洛陽 4. 平城京

問2 正倉院にゆかりの品々がおさめられている、奈良時代の天皇は誰？

1. 天武天皇 2. 桓武天皇 3. 孝徳天皇 4. 聖武天皇

問3 仏教の力で国家の安定を図るため、全国に国分寺の建立を命じた天皇は誰？

1. 天武天皇 2. 聖武天皇 3. 持統天皇 4. 桓武天皇

問4 元明天皇が藤原京から都を移し、奈良時代が始まった年号は何という？

1. 645年 2. 794年 3. 1185年 4. 710年

問5 律令制において、郡の長として地方の政治を担った有力者を何という？

1. 渡来人 2. 百姓 3. 貴族 4. 豪族

問6 律令制において、中央から派遣された国司のもとで、現地の有力な豪族が任命された役職を何という？

1. 郡司 2. 惣領 3. 国司 4. 里長

問7 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？

1. 班田収授法 2. 租庸調 3. 庚午年籍 4. 戸籍法

問8 奈良時代、唐の進んだ政治制度や文化を学ぶために、日本が中国へ派遣した使節団を何という？

1. 遣高麗使 2. 遣明使 3. 遣隋使 4. 遣唐使

問9 郡司が指揮下に入っていた、中央から派遣された地方長官のことを何という？

1. 国司 2. 防人 3. 郡司 4. 里長

問10 大化の改新以降、土地や人々はすべて天皇（国家）のものであるとする原則を何という？

1. 一国平均役 2. 公地公民 3. 土地台帳 4. 荘園公領制

問11 律令制度のもと、中央政府から地方に派遣されて郡司を指揮し、各地の統治を担当した役人を何という？

1. 太宰帥 2. 郡司 3. 国司 4. 里長

問12 奈良時代に、中国の制度や文化を学ぶために派遣された使節を何という？

1. 遣新羅使 2. 遣隋使 3. 遣明使 4. 遣唐使

問13 律令制下で、九州北部の守備を担当した兵士の任務を何という？

1. 沿岸警備 2. 軍事訓練 3. 徴兵制度 4. 辺境警備

問14 710年、現在の奈良県に建設され、奈良時代の政治の中心となった都を何という？

1. 藤原京 2. 平城京 3. 長岡京 4. 平安京

問15 遣唐使が日本へ招いた、苦難の末に来日して日本の仏教に大きな影響を与えた僧侶は誰？

1. 行基 2. 鑑真 3. 空海 4. 最澄

問16 唐の長安を模して造られ、奈良時代に都が置かれた場所を何という？

1. 平城京 2. 藤原京 3. 長岡京 4. 平安京

答え合わせ・解説

問1	答え 2 長安	長安は、当時の中国の首都であり、碁盤の目状にきれいに区画された都市構造を持っていました。日本はこの長安の計画を参考にして、平城京を建設しました。中央に朱雀大路という広い通りを通し、東西の市（市場）を配置するなど、国家の権威を象徴する都市づくりが行われました。
問2	答え 4 聖武天皇	聖武天皇は、各地に国分寺を建て、東大寺には大仏を造立しました。彼の没後、光明皇后がその冥福を祈り、愛用していた多くの品々を東大寺に奉納したものが、現在の正倉院の宝物となっています。
問3	答え 2 聖武天皇	聖武天皇は、仏教の慈悲の力によってこの苦難を乗り越えようと考え、「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺と国分尼寺を建てることを命じました。また、東大寺に巨大な大仏を造るなど、壮大な国家プロジェクトを主導しました。その信心深さとスケールの大きさは天平文化の頂点を示しています。
問4	答え 4 710年	710年、元明天皇は藤原京から平城京へ都を移しました。平城京は、大陸の都にならった碁盤の目状の区画（条坊制）を持ち、宮殿を中心に政治機能が集約された都市です。これにより、天皇を中心とした国家の威信を内外に示すとともに、官僚機構による効率的な統治が可能となりました。
問5	答え 4 豪族	郡司は、国司の指揮下に入り、戸籍の作成や徴税の補助といった行政の実務を行いました。終身制であったため、現地の地盤を持つ豪族たちがその地位を世襲的に継承することが一般的でした。
問6	答え 1 郡司	「郡司」は、地方の行政単位である郡の実務責任者です。かつて地方の有力豪族であった人々が任命されました。都から派遣された「国司」をサポートし、税の徴収や戸籍の管理などの実務を担当しました。
問7	答え 1 班田収授法	班田収授法は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。この田地から収穫された米の一部が税として国家に納められました。
問8	答え 4 遣唐使	遣唐使は、天皇の命を受けて唐の都である長安へ赴き、最新の仏教や学問、政治体制を吸収しました。阿倍仲麻呂や最澄、空海など、多くの著名な人物も遣唐使として渡航し、帰国後に日本の文化や仏教の発展に大きく貢献しました。
問9	答え 1 国司	国司は、中央政府の意向を地方へ伝え、郡司を管理することで徴税や戸籍管理を行いました。郡司の実務を監視し、定期的に中央へ報告する義務がありました。
問10	答え 2 公地公民	公地公民とは、すべての土地と人民を国家が直接管理し、公的なものとする原則です。これにより戸籍を作り、国民に田地を分け与えることで、税を徴収する仕組みを整えました。
問11	答え 3 国司	国司は都から派遣された貴族階級の官僚で、現地の有力者である郡司を指導し、税の徴収や戸籍の管理、治安維持を行いました。地方行政の最高責任者として大きな権力を持っていました。
問12	答え 4 遣唐使	遣唐使は、7世紀から9世紀にかけて、日本が唐へ派遣した公式の使節団です。留学生や学問僧らが同行し、唐の政治制度、仏教、建築、美術、音楽など、多岐にわたる先進的な知識を日本に持ち帰りました。これらは当時の日本社会を急速に発展させる原動力となりました。
問13	答え 1 沿岸警備	防人は、律令制における国防の要として、特に重要視された九州北部の防衛を任されました。農民の中から徴兵されて派遣されましたが、任期は長く、遠い故郷を離れて厳しい監視活動を続けなければなりませんでした。彼らの任務は国の平穩を守るための最前線でした。
問14	答え 2 平城京	710年に元明天皇によって遷都された計画都市です。中国の唐の都である長安を手本にして設計され、整然とした道路が碁盤の目状に配置されていました。政治・経済の中心地として繁栄し、遣唐使などによって国際的な文化が開花しました。
問15	答え 2 鑑真	鑑真は唐で名高い高僧でしたが、日本の僧侶からの要請に応え、5回もの失敗や失明という苦難を乗り越えて6回目ようやく来日を果たしました。奈良の東大寺に戒壇を築き、多くの僧に戒律を授けました。また、その後には唐招提寺を開いています。
問16	答え 1 平城京	710年に飛鳥から遷都された平城京は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。道が碁盤の目状に整備され、天皇が住む宮殿を中心に官庁が並ぶ、本格的な計画都市でした。ここを拠点として、全国の国司を指揮し、租税を徴収する律令政治が行われました。